

TOSTEM ガレージシャッター内部付枠 木造用壁(後)付



取付け説明書

- 取付けされる方に必ずお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。
掲載番号順に施工してください。

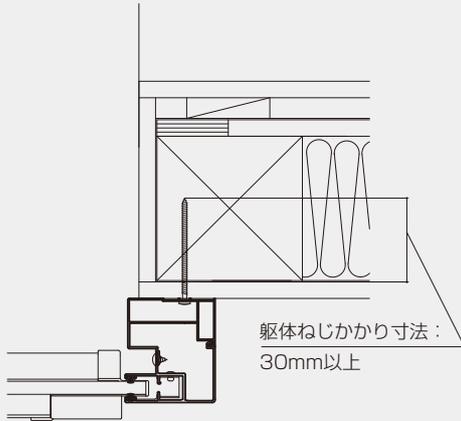
■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- シャッター本体の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。木造以外のALC造・RC造・鉄骨造の躯体に使用しないでください。
 - ・取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。図面のない場合は壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。
 - ・躯体へのねじかかり寸法は30mm以上確保してください。



- ・ねじは必ず、躯体に2.5N・m {25kgf・cm}以上のトルクで締付けてください。
- ・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。



- 下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になります。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	躯体へのねじの止め忘れはないか？	<input type="checkbox"/>
2	ねじは適正トルクで止められていますか？	<input type="checkbox"/>

取付け上のお願ひ

- 枠の水平・垂直を正確に出してください。シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直すおそれがあります。
- シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

- シャッター枠は取付け基準を守って取付けてください。

シャッター枠取付け
基準はこちら▶



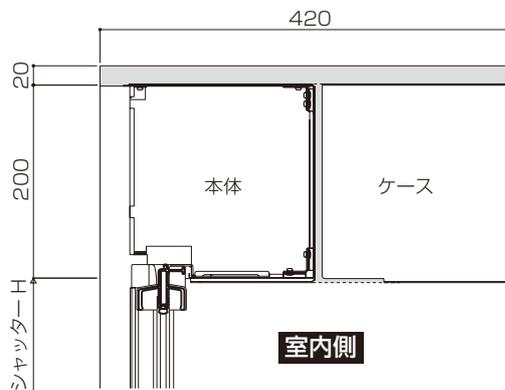
■ 躯体・外壁材・開口部の確認

シャッターを取付ける前に下記の内容を確認してください。

1. シャッターを取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには下図(シャッター取付け範囲)斜線部のスペースが必要です。



2. 内装材厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
3. ガレージシャッター固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。内装材部分だけで固定することは絶対行わないでください。
4. ガレージシャッター出幅方向で何かに当たりませんか。シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースを確保してください。



5. ガレージシャッター取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。一部に凹み等がある場合にはかい物などで調整してください。
6. ガレージシャッター取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。
7. ガレージシャッターの取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。
8. 左右の土間仕上がり面が、水平になっていますか？ 著しく土間面に勾配や高低差がある場合は取付けできません。

■ 使用部品・ねじ一覧表

㊦	㊧	㊨
バインドコースレットねじ φ4.2×75	トラスタッピンねじ φ4×12	コンクリートアンカーねじ φ4×32
㊩	㊪	
ガイドレール 抜け防止金具	バインドテクスねじ φ4×14	

※㊩、㊪はガイドレール取付け後に取付けます。取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。ガイドレール取付けまで大切に保管してください。

■ 取付けに使用する工具一覧

電動 ドライバー	ドライバー (手回し)	ドリル刃	シーリング ガン	水準器
トルク調整付		φ3.5		

■ 推奨機器



■ 取付け完了時の確認

※取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

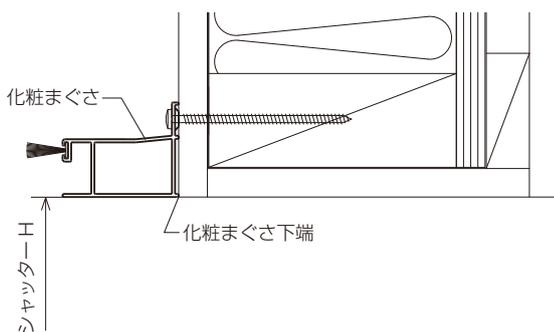
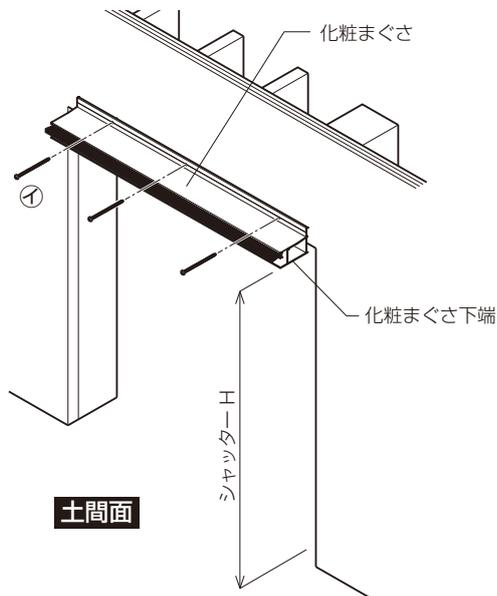
1化粧まぐさの取付け

▲注意



●下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になります。

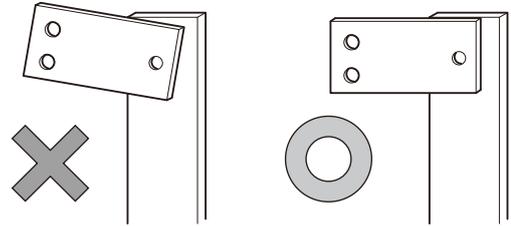
- ①化粧まぐさの下端を土間面からシャッターHの位置合わせ、躯体からの左右の寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して下穴をけがきます。
- ②けがきにに合わせて壁面にφ3.5のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
- ③化粧まぐさを躯体に①バインドコーススレッドねじφ4.2×75で取付けます。



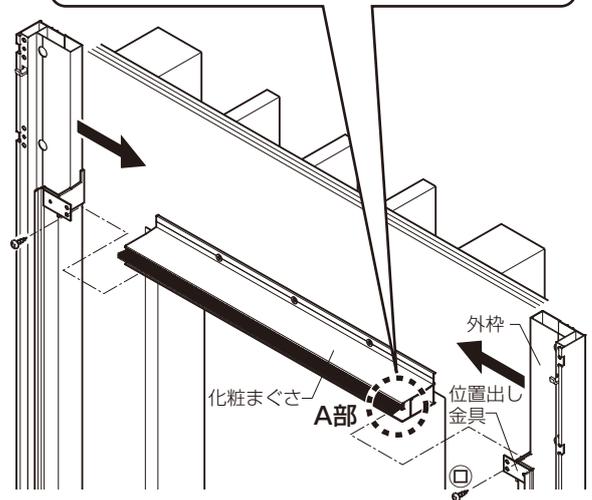
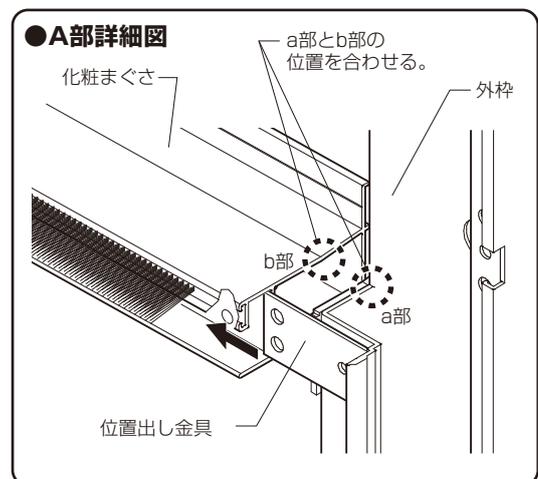
2外枠の取付け

外枠取付け上のお願

●位置出し金具がまっすぐになるように取付けてください。



- ①外枠の位置出し金具を化粧まぐさに横からスライドして合わせ、ⓐトラスタッピンねじφ4×12で固定します。



④外枠の取付け つづき

②外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように①バインドコースレッドねじ $\phi 4.2 \times 75$ でねじ止めします。(ねじ固定は必ず下穴をけがいて、 $\phi 3.5$ で下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから行ってください。)

※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるよう、かい物などで調整してください。シャッターの作動不良の原因になります。

※固定部が基礎にあたる部分は $\phi 3.4$ で下穴(深さ35~40mm)をあけ、①コンクリートアンカーねじ $\phi 4 \times 32$ で固定してください。

※上・中・下部の開口寸法の誤差が $\pm 3\text{mm}$ 以内であることを確認して調整してください。シャッター作動不良の原因になります。

